

令和5年度職員採用試験（大学卒業程度）
工業（化学） 専門記述試験（5.6.18）

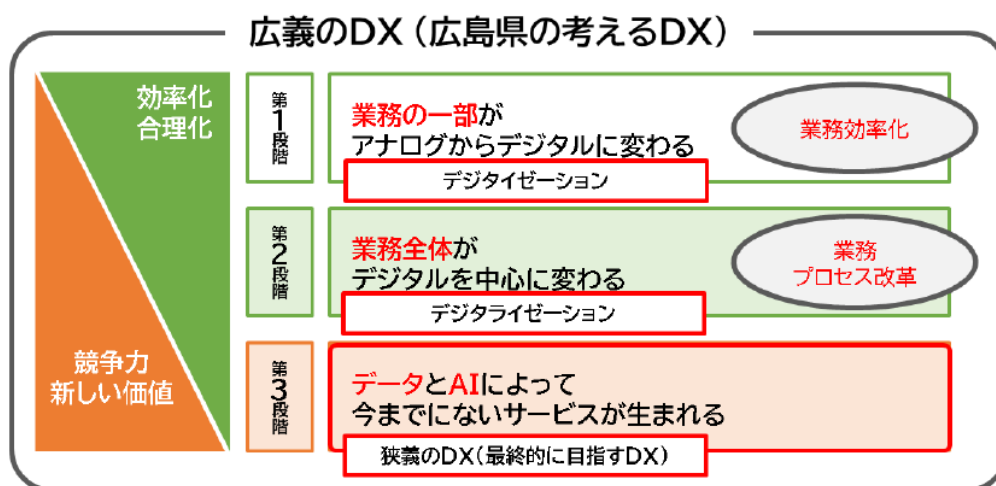
＝ 課 題 ＝

○化学分野におけるDXについて

我が国では、科学技術・イノベーション基本法に基づき、科学技術・イノベーション基本計画を5年ごとに策定しており、現在は第6期基本計画が開始されております。この基本計画の中で、我が国が目指すべき未来社会として、コンセプト、Society 5.0*が提唱されています。その実現には、DX（デジタルトランスフォーメーション）が重要になります。

広島県ではDXを、「デジタル技術を活用して、県民生活に関わるあらゆる分野（仕事・暮らし、地域社会、行政）において、ビジネスモデル、オペレーション、組織文化などの在り方に変革を起こすことによって、新たな価値を生み出し、県民の暮らしを豊かにすること」と定義し、デジタル技術を活用した業務効率化や業務プロセス改革も含めたDXを推進しています。

◆ 本県の考えるDX



広島県DX加速プランにおいては、「県内の行政や民間事業者（以下、「各主体」という。）がDXを自分事としてとらえ、それぞれの目的の実現に向けて試行錯誤している状態」を目指します。（広島県DX加速プランより抜粋）

（次頁に続く）

以上を踏まえて、本県の化学（環境、化学工業、工業材料、食品化学等）分野において、デジタル技術を新たに活用して、どのような取り組みを行うことができるか、これまで、新聞、TV、インターネット等で見聞きしたことも参考にしながら、仮説であっても構わないので、あなたの意見を述べなさい。

* Society 5.0 は、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」であり、「直面する脅威や先の見えない不確実な状況に対し、持続可能性と強靭性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現できる社会」と定義されています。